

過去の診療情報を利用した臨床研究について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2021年1月1日～2021年12月31日の間に原発性肺癌のために虎の門病院に入院し外科的切除を受けられた方。(ただし生検目的の手術例は除外)

【研究課題名】

2021年に外科治療を施行された肺癌症例のデータベース研究
(肺癌登録合同委員会 第11次事業)

【単独・多施設】

多施設共同研究

【研究代表者】

吉野一郎

肺癌登録合同委員会 事務局長

千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学 教授

【虎の門病院における研究責任者】

呼吸器センター外科 部長 藤森賢

【研究の目的】

本邦で2021年に外科治療を受けた肺癌症例の患者情報、疾患情報、予後情報のデータベースを構築し、肺癌外科治療の現状と治療成績を調査する。さらに国際肺学会 (International Association for the Study of Lung Cancer、本部はアメリカ合衆国コロラド州デンバー) が有する国際データベースに拠出して TNM 分類の改定にも貢献する。

【利用するカルテ情報】

患者背景 (年齢・性別・身長・体重・既往歴等) 術前検査所見 (画像所見・腫瘍マーカー・呼吸機能) 手術 (手術日 手術内容) 病理学的検査 (組織型 病理学的病期 遺伝子変異等) 術後経過 (合併症・生存の有無)

【研究実施期間】

2021年5月26日～2026年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。本研究に関わる記録・資料は論文発表等の後10年間保存いたします。

情報は虎の門病院で匿名化されたうえで、NCDサーバー上の胸部腫瘍データベースとして集積され保管される。NCDから研究事務局が定めるデータ解析センター (東京理科大学理学部数学科、宮岡悦良教授) への解析用データセットの輸送は物理的手段あるいは最新の安全措置がされた web システムを介して行う。データ解析センターでは外部と接続されていないパーソナルコンピュータにデータを入力し保管する。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【利用する者の範囲】第11次事業全国肺癌登録事業に参加している施設。(ホームページ: [肺癌登録合同委員会 | 第11次事業\(2021年外科症例\) \(haigan-touroku.jp\)](http://haigan-touroku.jp))

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026年6月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 呼吸器センター外科 菊永晋一郎 藤森賢

電話 03-3588-1111(代表)